



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第328号

2017年7月31日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

3校統廃合から小中一貫校に突然変更

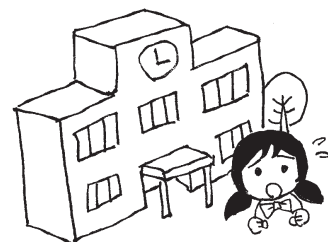
八千代市教育委員会は2012年に「小規模校は子どもに良い教育環境ではないからそれを解消する」という名目で「阿蘇小・米本小・米本南小の3校を1校に統廃合」するという方針を打ち出しました。ところが昨年3月、突然「小中一貫校」の方針に切り替えました。米本団地から小学校をなくし、阿蘇中学校の場所に3つの小学校と中学校をまとめ小中一貫校にするというのです。

唐突な方針変更の背景には、公共施設の統廃合・縮小計画、文部科学省の「学校統廃合手引き」の改定、小中一貫校の義務教育学校法制化など、統廃合を推進する国の3点セットがあります。今後、全市的に学校の統廃合を進める恐れがあります。

「米本団地から学校をなくさないで」

住民を無視した余りに唐突な方針変更、自治会や保護者有志の会は「米本団地から学校をなくさないで」と、署名活動に取り組みました。1カ月余りで1735筆以上集まり、6月23日、署名と要望書を服部市長に提出。「小中一貫校の方針は、地域住民に説明が行われず、意見も聞かずにつくられたもので納得できない」と訴えました。

7月25日には教育長との交渉が行われました。参加した小学4年生の子は「小中一貫校になると学校までの距離が遠くなり、危険なのでやめてほしい」と訴え、保護者は「英語が早くから学べても他の教科は大丈夫なのか心配」「1年生から6年生の交流がいいのに、そこに中学生を入れなくてもいいのでは」「外国籍の子どもが多い環境なので丁寧に教えられる小規模校の方がいい」などの意見が出されました。



地域住民と合意のない方針は白紙に戻せ！

阿蘇・米本地域の住民を対象に教育委員会は、7月9日、10日に説明会を行いました。説明会では小中一貫校に賛成する声はほとんどありませんでした。「米本小と米本南小が統合することではだめなの」「学校がなくなった団地に若い人が引っ越してくるのか。地域の発展を考えない方針は無責任」「米本団地の祭りには今も2000人が集まる。このような地域を50年かけてつってきたのだ」「地域の人々の了解も得ないで小学校をなくすことは納得できない。白紙に戻すべき」と、教育委員会に痛烈な批判の声が上がりました。